

平成 30 年

## 活躍する卒業生からのメッセージ

本学科では、毎年卒業後に活躍している先輩方に訪問してもらい、在學生にメッセージを送っていただいています。第 10 回目は、「大学」をテーマに、東京大学医学部付属病院から高橋千文先生と兵庫県立大学人間科学部の澤村弘美先生にお越しいただきました。

高橋先生からは、大学病院での管理栄養士業務について、具体的な事例を挙げて紹介していただきました。

澤村先生からは、管理栄養士として管理栄養士課程で勤務されるまでの経歴や管理栄養士を目指す学生への思いをお話いただきました。

普段なかなか聞くことができない大学病院での業務や、これから時代に求められる管理栄養士の能力について聞くことができ、非常な有意義な時間となりました。

高橋先生、澤村先生、貴重なお話をありがとうございました。





## 管理栄養士総合演習

11月27日に管理栄養士総合演習の論文ポスター発表会が開催されました。この論文ポスター発表会は、1つのグループ(3人)につき、1つの英語論文を渡し、ポスター形式にまとめて日本語で発表するというものです。

当日、学生がポスターの前に立って、教員や学生から質疑応答が行われました。今年度からの新たな試みとして、一人の学生が自分のポスターの前に立ち、30分間質疑を担当するというものでした。

教員からの鋭い質問に一生懸命答えている学生の姿をみて、一生懸命準備してきた成果を感じ取ることができました。この調子で卒論発表に向けて頑張りましょう！



## 滋賀めし冬メニュー

2018年12月2日にビバシティ彦根で開催された「滋賀の食から健康を考えるフォーラム」で、人間文化学部生活栄養学科4回生の近藤春菜さん、同2回生の外池奈実、道慶怜奈、西井万裕、野崎朱莉さんが、琵琶湖畔 味覚の宿 双葉荘さんと共同で考案した、滋賀めし冬メニュー「近江の魅力まるごと膳」の発表を行いました。

発表会場では、多くの参加者の前で考案したメニューのコンセプトや栄養成分について説明を行った後、三日月大造滋賀県知事、立命館大学スポーツ健康科学部の海老久美子教授に試食していただきました。



## お弁当コンテスト

公益財団法人滋賀県栄養士会が主催で「お弁当コンテスト 2018 年～米と野菜たっぷり！滋賀PR弁当～」が開催されました。

このコンテストでは、地産地消、伝統野菜や特産物を使用すること、栄養バランスがとれていることなどを基準として、お弁当レシピを募集していました。

2018 年 11 月 17 日(土)にイオンモール草津で開催された「食と健康展」で、お弁当コンテストの表彰式が行われ、人間文化学部生活栄養学科 2 回生の足立 彩央里さんが優良賞、同じく 2 回生の森 真実夕さんがうれしが賞を受賞しました。

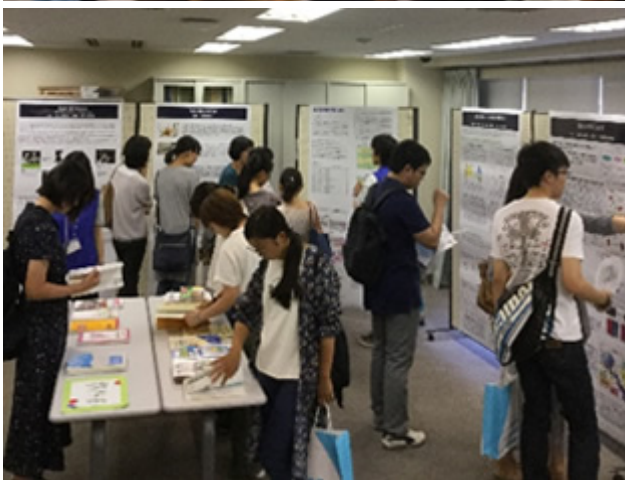


## オープンキャンパス

7 月 21, 22 日に滋賀県立大学オープンキャンパスが開催されました。

生活栄養学科では、模擬講義、見学ツアーや展示を行いました。





猛暑の中ご来場いただきましてありがとうございました!!

(東田)



## 湖風祭

6月16日(土)に開催された湖風祭で、生活栄養学科一回生全員で模擬店を出店しました!!  
毎年恒例となっている新入生による模擬店ですが、今年にはミニチュロスを販売しました。  
一回生全員で調理や販売など協力して行ったので、団結が深まったのではないのでしょうか。  
ご購入いただきました皆様、ありがとうございました!!



(東田)

## 入学式

滋賀県立大学では4月5日に入学式が行われました。

今年の生活栄養学科への入学者は30名でした。

入学式翌日のオリエンテーション時に、恒例の集合写真を桜の木の下で撮影しました。



(東田)

## 管理栄養士国家試験合格発表

3月4日に行われた第32回管理栄養士国家試験の合格発表が3月30日にありました。

今春の卒業生29名が受験し、全員が合格しました。

合格率100%は2年連続です！

ここ数年行ってきた教育内容の改善効果が表れてきたのかもしれませんが。

卒業生のみなさん、合格おめでとうございます！！

(東田)

## 学位記授与式

3月21日に学位記授与式が行われました。

生活栄養学科の4回生29名が卒業し、健康栄養部門の博士前期課程回生4名が修了しました。

交流センターホールで大学および大学院の全体の学位記授与式が行われたのち、教室に移動し、学部卒業生は一人ずつ卒業証書を、博士前期課程修了者は学位記(修士号)を受け取りました。

管理栄養士養成課程を最も優秀な成績で卒業する学生に一般社団法人全国栄養士養成施設協会理事長表彰が贈られ、土田さんが受賞しました。

生活栄養学科を優秀な成績で卒業する学生に対して生活栄養学科成績優秀者表彰が贈られ、土田さん、梶中さん、田中さん、北井さん、中江さんの5名が受賞しました。

また、修士論文発表会優秀発表賞が田中君に贈られました。



こちらは、夕方に行われた謝恩会の様子です。





卒業おめでとうございます！（東田）

## 修士論文発表会

2月20日に修士論文発表会を開催しました。

博士前期課程（修士課程）の大学院生は、大学病院や総合病院など最先端で管理栄養士として活躍したい、企業で研究開発・商品開発に携わりたい、研究者になりたいといった夢の実現に向けて、2年間、一生懸命になって研究と勉強に打ち込んできました。

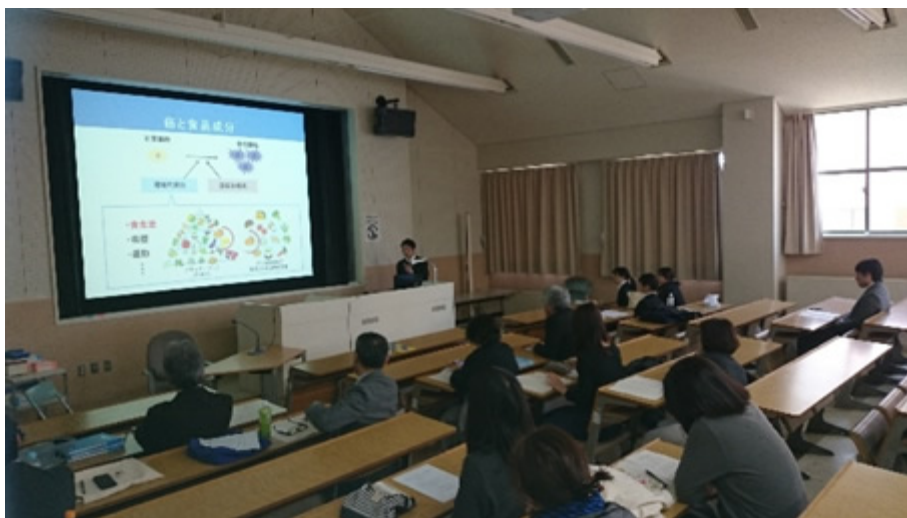
皆、修士論文研究の成果としてすでに学会発表を行っており、さらに学術雑誌で発表するために学術論文としてまとめています。

修士論文発表会の発表時間は15分、質疑応答時間が15分、計30分と長く、質問の内容もかなり踏み込んだ高度なものになります。

そして、今年も分かりやすい高レベルの発表が行われました。

教員一同、皆さんの今後の活躍を期待しています。

2年間お疲れ様でした！



(東田)

## 卒業研究発表審査会

1月23, 24日に平成29年度卒業研究発表審査会を開催しました。

生活栄養学科では、4回生になると1年間、研究室に所属し、卒業研究として栄養学の最先端の研究課題に取り組めます。

研究テーマをいくつか紹介します。

- ・冷え症の発生と感覚に関する研究
- ・高齢者の栄養摂取と健康指標に関する研究
- ・食品成分によるがん細胞増殖抑制メカニズムに関する研究
- ・嚥下評価方法に関する研究
- ・授乳期のストレスに関する研究
- ・疾病とビタミン代謝に関する研究
- ・母親の食事と羊水に関する研究
- ・筋衛星細胞と疾病に関する研究

などがあります。

研究室によって研究テーマが異なるのはもちろんのこと、目的、方法、対象も変わります。

患者、高齢者、授乳婦を対象に質問票を用いた調査、食品成分を摂取したヒトのデータ解析、実験動物を飼育や培養細胞中のタンパク質や DNA を測定したりします。

今年は十分に質疑応答の時間をとるために、審査会を2日間にわけて行われました。

パワーポイントを用いた発表の後は、教員や大学院生からの厳しい質疑応答です。

今年も例年通り、簡潔に分かりやすくまとまった発表&質問に対する的確な回答、というよい発表が行われました。

年々、発表のレベルが上がっていることを実感しています。

下の画像は、発表の様子(上)審査会終了後の4回生の集合写真(下)です。

1年間お疲れ様でした！



(東田)